

# 令和5年12月遠野市議会臨時会会議録（第1号）

令和5年12月18日（月曜日）

事務局職員出席者

## 議事日程 第1号

令和5年12月18日（月曜日）午後3時開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 議案第85号 令和5年度遠野市一般会計補正予算（第8号）

事務局 局長 奥寺国博 君  
主幹兼 次長 千葉芳治 君  
主 査 朝倉宏孝 君

## 説明のため出席した者

## 本日の会議に付した事件

- 1 諸般の報告
- 2 日程第1 会議録署名議員の指名
- 3 日程第2 会期の決定  
(議会運営副委員長報告、採決)
- 4 日程第3 議案第85号 令和5年度遠野市一般会計補正予算（第8号）  
(提案理由の説明、質疑、討論、採決)

市長 多田一彦 君  
副市長 鈴木惣喜 君  
総務企画部長 鈴木英呂 君  
健康福祉部長兼健康福祉の里所長  
兼地域包括支援センター所長 菊池 寿 君  
産業部長 阿部順郎 君  
環境整備部長 村上明洋 君  
会計管理者 新田順子 君  
兼会計課長  
消防本部消防長 千田一志 君  
市民センター所長 海老寿子 君  
教育長 佐々木一人 君  
教育委員会事務局教育部長 伊藤貴行 君

## 出席議員（16名）

- 1 番 千田由美子 君
- 2 番 菊池美之 君
- 3 番 菊池忠信 君
- 4 番 昆明美 君
- 5 番 宮田勝美 君
- 6 番 小松正真 君
- 7 番 佐々木恵美子 君
- 9 番 佐々木敦緒 君
- 10 番 小林立栄 君
- 11 番 菊池美也 君
- 12 番 瀧本孝一 君
- 13 番 菊池由紀夫 君
- 14 番 佐々木大三郎 君
- 15 番 新田勝見 君
- 16 番 荒川栄悦 君
- 17 番 多田 勉 君

○議長（多田勉君） ご苦労様です。開会に先立ち、市民憲章朗唱を行います。

御起立願います。

遠野市民憲章

わたくしたちは、悠久の時を越えて継承してきた美しい郷土と、伝統ある文化に誇りを持ち、このすばらしい宝玉を、さらに「永遠の日本のふるさと遠野」として、創造・発展させるため、ここに、この憲章をさだめます。

わたくしたちは

1 豊かな自然を愛し、平和で住みよいまちをつくります。

1 心と体をきたえ、温かい家庭と明るいまちをつくります。

1 創意をあつめ、産業と交流の元気なまちをつくります。

1 恵まれた文化を活かし、夢を育む学びのまちをつくります。

1 共に考え支えあつて、未来を望む協働のまちをつくります。

## 欠席議員

- 8 番 菊池浩士 君

着席願います。

---

午後3時00分 開会・開議

○議長（多田勉君） これより令和5年12月遠野市議会臨時会を開会いたします。

本日の欠席届け出議員は、8番菊池浩士議員であります。それでは直ちに本日の会議を開きます。

---

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（多田勉君） これより本日の議事日程に入ります。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により議長において、5番宮田勝美議員、6番小松正真議員を指名いたします。

---

日程第2 会期の決定

○議長（多田勉君） 次に日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

本件に関し、議会運営委員会の報告を求めます。議会運営委員会、佐々木大三郎委員長。

〔議会運営委員会佐々木大三郎委員長登壇〕

○議会運営委員長（佐々木大三郎君） 命によりまして、議会運営委員会のご報告をいたします。

本日、午後0時30分から議会運営委員会を開催し、令和5年12月遠野市議会臨時会の会期を本日1日間とすることに決定いたしました。

会期内の予定表については、既に議員各位のお手元に配付しておきましたが、若干の説明を加えさせていただきます。

会期の決定後、議案第85号遠野市一般会計補正予算（第8号）についての提案理由の説明が行われ、質疑、討論の後、採決を行います。

議案第85号の質疑は自席で1人3回までとなっておりますので、念のため申し添えます。

議員各位の御賛同と御協力を申し上げ、議会運営委員会の報告といたします。

○議長（多田勉君） お諮りいたします。ただ

いまの議会運営委員長報告の通り、今期臨時会の会期は本日1日間といたしたいと思えます。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（多田勉君） 御異議なしと認めます。よって、会期は本日1日間と決定いたしました。

---

日程第3 議案第85号遠野市一般会計補正予算（第8号）

○議長（多田勉君） 次に、日程第3、議案第85号遠野市一般会計補正予算（第8号）についてを議題といたします。

本案について提出者の説明を求めます。

鈴木副市長。

〔副市長鈴木惣喜君登壇〕

○副市長（鈴木惣喜君） 命によりまして、令和5年12月遠野市議会臨時会に提出しました、議案第85号令和5年度遠野市一般会計補正予算（第8号）の提案理由をご説明いたします。

本案は、第1条、歳入歳出予算の補正により、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億4,318万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ208億3,097万9,000円としようとするものであります。

主な内容は、物価高騰緊急支援、非課税世帯給付金の給付の実施に必要な予算をはじめ、物価高騰対策に関する事業費の予算について補正しようとするものであります。

この他、第2条の繰越明許費の補正は、物価高騰対策事業費3事業を追加しようとするものでございます。

以上で説明を終わります。

よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（多田勉君） これより質疑を許します。質疑ありませんか。15番、新田勝見議員。

○15番（新田勝見君） 議長、15番。私は6款農林水産業費の畜産業費に関わって、お尋ねいたします。

現在畜産業は非常に苦しい状況にあるという事は皆様ご存知なことと思えます。

子牛の下落等ですね、それから資材の高騰、そのための補正予算だと思えますけれども、ここに5,000万の補正がなされておりますけれども、その事業の中で7つほど事業を計画しておりますけれども、この内容について質問いたします。

○議長（多田勉君） 阿部産業部長。

○産業部長（阿部順郎君） 順を追って答弁をさせていただきます。まず一つが、配合飼料価格高騰対策事業費補助金になります。これは配合飼料を購入する価格高騰分の一部を補助するための補助金になります。

1 t 当たり2,000円を市単独で補助するという事業になります。

2 点目の優良繁殖雌牛保留対策事業費補助金でありますけれども、こちらについては優良雌牛の保留導入を行った場合に、市が一定額補助をします。これ優良繁殖牛の登録審査というものがあるんですけれども、79点以上の方については、2万円それから82.5点以上の方には3万円を嵩上げ補助して、保留導入を進めるという補助事業になります。

それから、乳用子牛出荷緊急支援事業費補助金でありますけれどもこれはスモール市場ですね、こちら辺ではヌレっ子と言いますが、こちら市場に出荷した際に、1頭当たり3万円の補助を行うというものになります。

それから4点目の、同じ名称ですが優良繁殖雌牛留対策事業費補助金でありますけれどもこれは今回の議会では補正予算で計上いたしますが、令和6年度に執行すると、令和5年度と同様に、保留導入を進めていくという事業内容になります。

5 点目の地域内粗飼料供給支援事業費補助金でありますけれども、こちらについては、体積1<sup>m</sup>3 当たり3,300円の2分の1を上限に市内から購入した場合に粗飼料の購入費の助成を行うというものであります。

6 点目の遠野牛優良改良支援事業費補助金ですが、これは優良牛を特定するためのゲノム解析を行うというものになります。ゲノム解析

は大体1万5,000円かかるんですけども、これの3分の1を補助すると。これは肉用牛、乳幼牛も同じであります。このことによって、乳量とか肉質の優良血種を特定をして、これを市内に保留導入を進めるという考え方によるものであります。

それから7点目の優良遺伝繁殖牛導入支援事業費補助金ですけども、こちらは県外からの優良な牛の導入の補助と一頭あたり30万上限、2分の1補助という事業になります。以上であります。

○議長（多田勉君） 新田勝見議員。

○15番（新田勝見君） 私は畜産業費、遠野市においては基幹産業と言われております。

そこで農家の心情といたしまして、資材が高くなる、あるいは子牛が安くなる。本当は高ければ売れるし、保留もできるわけでございますけれども、安くなりますと、どうしても販売の方に向いてしまうと、逆に牛の値段が下がると資材が高くなるもので、餌も含めてですけども、そういうことを考えると、優良雌牛の保留対策事業果たしてこれで十分、その分を補えるのかどうかというのは非常に不安に思いますけれども、主要農家等の意見、そういったものを十分に把握した上で、このような政策になっているのか、お尋ねいたします。

○議長（多田勉君） 阿部産業部長。

○産業部長（阿部順郎君） もちろん十分意見交換をして把握した上で導入を決めております。

単なる給付であれば問題を棚上げにして先送りするだけになるケースが多いんですけども、今回は市場でしっかりと評価を受けて、コストがちゃんと価格に転嫁ができるような優良牛を目指しているということになります。総論で言いますと、優良血種もゲノム検査によって残します。優良牛も保留導入で残します。

この優良牛は最大で1頭あたり5万円の補助が遠野市から出ますけれども、花巻農協さんの事業と絡めると1頭当たり8万5,000円の補助金がもらえるということになりますので、これを積極的に進めていくと、県外導入もすると。そ

れから種も、今いろいろと県と協議をしていますが、いずれ最大限努力を払っていきながら、優良血統を残して遠野ブランドを作っていきたい。

それから保留導入ですから飼養管理が大切になります。牛全体が高齢化している農家もいますので、保留導入することによって牛の若返りを図りながら、しっかりとした飼養管理をして、いい牛をいい環境のもとで作っていくと、そういったものを生産者と一緒に協議をしながら組み立てている途上ということになります。以上です。

○議長（多田勉君） 15番、勝見議員。3回目です。

○15番（新田勝見君） 議長、15番。確かに牛どんどん減ってきてますし、農家の飼養頭数も減ってきてるんだろーと思います。辞めている方も多いということでございます。

やはり繁殖雌牛の保留、自家保留それから県外導入など策があるだろうと思いますけども、きちんとした、その飼養農家のご意見なりそういったものを参考にしながら、ぜひ切れ目ない対策をお願いしたいところでございます。そこでもう一つ質問でございますけれどもこれ以前からといいますか、令和5年度にも行われましたけれども、地域内粗飼料の供給支援事業ですね、これは今までも多分行われてきているはずだと思いますけれども、牛でも何でも餌がなければ買うことはできないわけですけども、そういった面でこの施策も非常に有効かなと、私は思っておりますけれども、今までの経過と今後の取り組みについて聞いて終わります。

○議長（多田勉君） 答弁、阿部産業部長。

○産業部長（阿部順郎君） これは令和5年から実施している事業でありますし、畜産公社が販売する牧草7,000円で売っていたものを、コスト計算をすると1万円を超える単価です。それを是正するための補助金でもありましたが、基本的には家畜の生産者、もしくは酪農家の皆様が購入する粗飼料をできるだけ再生産可能な値段で買っていただくために市が支援を継続す

るものと考えております。

このことによって畜産公社だけの粗飼料でなくて、市内で個々に牧草を取引している農家さんの流通もわかってきます。その意味では市内でこういった基盤で牧草が生産されて、どれだけの量が流通しているのか、これを把握したいと思っています。畜産経営アクションプランで調査したところですね、粗飼料の域内自給率は、約95%でした。そのうち5%については畜産公社が外部から購入している牧草ということになりますので、これから地域に入って地域計画を策定しなければいけないわけですが、市内での牧草の自給率を100%以上目指していきたいと考えておりますし、当然、粗飼料も含めてですね、どれだけ遠野市内で飼料の自給率を向上できるかと、そういったものもこれから研究していきたいと考えております。

○議長（多田勉君） 他に、10番、小林立栄議員。

○10番（小林立栄君） 今回の補正予算、物価高騰対策の補正予算ということで質問してまいります。やはり大事なことは物価高騰に苦しんでいる方々に少しでも早く支援をお届けして、少しでも安心をしていただいて、この年末年始、そしてこの冬を過ごしていただく、乗り越えていただくことが重要だと考えております。その視点で何点か質問をさせていただきます。

まず、福祉関連の事業として非課税世帯への給付事業と冬のあったか応援事業これが計上されております。先ほど申しました通り、少しでも早く必要な方に支援の手を届けさせることが大事だと思いますが、この事業、どのようなスケジュールで給付を進めていかれるのか、確認をいたします。

○議長（多田勉君） 菊池健康福祉部長。

○健康福祉部長（菊池寿君） スケジュールということですが、対象者抽出、それから通知書発送、確認作業と一定の事務作業を要します。その中では、少しでも早い給付を目指しまして、段階的な給付を計画していました。

第1段階としまして、生活保護世帯を先行

して年内の給付を予定しています。これは既に対象者として確定しているため、年内給付が可能となります。また、第2段階の給付としましては、前段で申し上げたように、対象者の抽出、通知書を発送後、2週間程度の届け出期間、確認を設けるよう国の指導がありますので、それらの手続きをきちっと取った上で、第2段階の給付は1月下旬の振り込みを予定していたところであります。

○議長（多田勉君） 10番、小林立栄議員。

○10番（小林立栄君） わかりました。本当に時間のない中での配送作業とか、実際の給付に向けて取り組まれていかれるということでございます。本当に少しでも早い取り組みを、ご期待を申し上げますし、今のご答弁を聞いて少しでも安心していただける、対象となる方には、しっかり行政としても早めに、お伝えをして頂きたいと思っております。次は経済対策について、特に商工関係について1点確認をさせていただきます。今回消費喚起の対策と生産性向上の継続した支援策が計上されております。市内の経済状況について、全体としてはやはり回復傾向にあるとは私も判断をしております。

ただ、実際には、製造業についても、受注の方は減少してきているとか、あるいはサービス業ですね観光、宿泊、飲食業などこれまでのコロナの影響による人流抑制とか、物価高騰によるダメージから抜けきれていないのが実情ではないかなと考えております。今回この継続事業として、2点経済対策として計上されております。私としては、今後、この経済状況も改めて判断しながら、もう一押しの支援というのが必要になってくるのではないかと考えておりますが、市としては、今後、商工関連の経済対策についてはどのように進めていこうとお考えなのか、お伺いをいたします。

○議長（多田勉君） 阿部産業部長。

○産業部長（阿部順郎君） 今後の経済情勢がどうなのかという話になるわけなんですけど、物価高騰は続くという判断であります。

企業物価指数と消費者物価指数があるんで

すが、まだ企業物価指数が高い、手元に資料がなくて数字は申し上げられませんが、それは議員もご案内だと思います。

それから石油に政府が補助金出してますね、これがいつ補助金なくなるのかと、それから各電力会社にも、政府の方でキャップを被せていると。一部緩和されてきてますが、電気料金がどう跳ね返るのかとなど、いろんな不安要素があります。

あと、世界の物価上昇ですが平均で6%から7%毎年上がっていると言われていて。物価も上昇してますが、世界のGDPも伸びてるんですよ。要するに、物価が上昇するけどもGDPが、いわゆる消費が、その物価上昇率を飲んでいけると。所得も、物品を購入できるぐらい賃金が伸びているということになるんですが、日本は伸びていません。したがって、物価上昇はするけども、購買が上がらない、GDPが上がらない。インフレとデフレが同時に起きる状況になってきているとなりますから、これはですね遠野だけでなく、抜本的に解決しなきゃいけないと私は思います。

そのためには、生産性向上の高い企業をどう皆さんと一緒に作っていくかというのが大きな課題で、そのためには市長が何回も言ってますが業種転換、業態転換そういったものを視野に入れて広く検討しなければなかなか厳しい時代がやってくると思っているので、もう一押し二押し、三押しというように次から次へと、政府の経済対策に連動しながら、市としても対策を講じていくことが必要だと思っています。

○議長（多田勉君） 10番、小林立栄議員。3回目です。

○10番（小林立栄君） まさにその点で、切れ目ない取り組みですね、また国とか県とも連携しながら、引き続き取り組みを進めていただきたいと思っております。先ほど1回目の質問、2回目の質問のまとめにもなるんですが、特に、先の給付関係で、福祉関連の事業につきましても今後ですね、国の方でも、均等割のみ納税されている方への給付であったり、子育て世帯への追

加給付であったり、そういったものを来年の2月から3月にかけて行っていきたいとの方針ということでございますので、ぜひ国の動向も捉えていただきながら、引き続きスピード感のある対応、これがやはり大事になると思います。

本当に必要であれば予算化をして臨時会を開いていただいて、追加の物価高騰対策は、どんどん打っていただきたいと考えておりますが今後の物価高騰対策の進め方についてお伺いをいたします。

○議長（多田勉君） 鈴木総務企画部長。

○総務企画部長（鈴木英呂君） 今回の給付の事業ですが、制度的に、かなり複雑なものになっております。併せて、4万円の減税というのでも同時に国から出されております。これらは複合的に関連しているものでございます。さらに、議員おっしゃいました、子育ての上乗せ分というのも出てきております。

その辺の制度設計を、きちんと見極めまして、タイミングを逸することなく事業に当たってまいりたいと思います。

これはデフレ完全脱却というところを国が話していますところに、きちんと合わせた形で進めていきたいと思っております。

○議長（多田勉君） 3番、菊池忠信議員。

○3番（菊池忠信君） 私もこのたびの物価高騰対策事業、そして先ほど産業部長がご答弁されました、畜産関連の6つの補助金でいろいろご説明を頂いた中ですね、6つ目にあります優良遺伝繁殖雌牛導入支援事業補助金という部分で、この補助金に関しましては、継続ということでございます。720万の予算を取られたということで、24頭の県外優良繁殖雌牛を導入されると、1頭当たり30万円が上限ですよということは承知しましたけれども、これは先ほどもありましたが、10月に畜産経営アクションプラン、これを基にして、21頭、県外から導入されたということは畜産農家の方々も承知されていると思います。

今回これに加えてさらに24頭分ということであろうと私は推察しますが、この狙い

について、お伺いをします。

○議長（多田勉君） 答弁、阿部産業部長。

○産業部長（阿部順郎君） 狙いというのは多分、なぜ鳥取なのかという話になるかと思うんですけども、岩手県内に鳥取の優良牛がまず少ないことと、当然差別化するには鳥取県の方に行って買い付けをした方がいいと宮崎県とかにも個々に入ったんですが、前に買い付けしたときに、あまり良い牛を紹介されなかったという話も聞きまして、今回は鳥取に的を絞って購入に行ったという経緯になります。もちろん優良血統を残すために、県外から導入し、遠野独自のブランドを作るためにあえて鳥取から導入したということになります。

○議長（多田勉君） 3番、菊池忠信議員。

○3番（菊池忠信君） 議長、3番。あえて新しい鳥取ブランドに遠野もそういう方向に持っていくという狙いであるという答弁でありましたけれども、これは前回同様、畜産農家の方々に希望を募って、手挙げ方式といいますか、先着といいますか、そういう形での導入計画であろうとは思いますが。

これは一度に、鳥取で要は、遠野市が今後、遠野ブランドとしての繁殖牛を生産していく上での、大きなきっかけになりたいと、そういう狙いがあるという答弁でいくよと。腹と種と前に市長は、おっしゃいましたけれども、そこが基本だろうという考えでいかれるのか、それを改めてお伺いします。

○議長（多田勉君） 阿部産業部長。

○産業部長（阿部順郎君） 議長。まさに議員がおっしゃる腹と種こだわりを持って、これを継続して遠野ブランドに繋げていくという考えであります。

○議長（多田勉君） 3番、菊池忠信議員。3回目。

○3番（菊池忠信君） 議長、3番。要するに、今こうやって畜産農家は、飼料も高騰、まだまだこれからも高騰した飼料を与えながら、しっかりと繁殖経営をされておりますけれども、これが価格上昇傾向であれば、よろしいんです

けれども、なかなかそうはいかない。

そして師走を迎え、年末、今月の市場、それから願わくば、年明けの令和6年1月の市場、そこに大きな期待を寄せていると思います。

ですから、遠野市の畜産農家は、まだまだ頑張るよという気持ちを、私は沢山伺っておりますけれども、これに対して、改めて遠野市が向かう畜産像といいますか、それをお聞きして終わりたいと思います。

○議長（多田勉君） 答弁、阿部産業部長。

○産業部長（阿部順郎君） 畜産像っていうのは、要するに生産コストを価格に転嫁できる、そういった牛を目指すのはその通りでありますし、あと遠野独自のブランディングを図ると言ったのは先ほどの答弁の通りです。

そうした中でいろんな畜産を目指す方々が、新規就農者を含めて、遠野の畜産に夢を持って畜産を継続しようと、そして農業の生産額の6割を占める畜産といいますけれども、これから政府が進める耕地の20%を有機農業に変えていくという方針もあります。みどり戦略にも合致した戦略を構築するためにも、遠野市の畜産は欠かせないし、これが観光資源にも繋がってきていると受け止めてますので、まず牛にこだわった様々な形の地域の産業の底上げを図っていききたいというのがまず根底にありますので、これは申し上げさせていただきたいと思います。

○議長（多田勉君） 他に、11番、菊池美也議員。

○11番（菊池美也君） はい私は5款の雇用対策費について質問させてください。昨年度はコロナ経済対策ということで、取り組んでおりました同じ事業内容とをしましたが、決算額、令和4年度は186万円ちょっとだったんです。

目標、提供したい人数200人に対して実質16人だったということでした。ただいまの補正予算計上250万円ということですが、昨年度の決算に比べて補正予算アップした理由を伺いたいと思います。続いて7款の商工振興費ですが、生産性向上設備投資補助金、先ほど経営企画部長がご答弁された通り、国の総合対

策に順次ながらという形になろうかと思いますが、今回改めて2,400万円を補正予算計上ということでございますが、この補助金を活用して生産性向上を図ろうとしている企業があるのかどうか、用途があって計上するものなのか、2点伺いたいと思います。

○議長（多田勉君） 阿部産業部長。

○産業部長（阿部順郎君） 質問が二つになりましたけれども、まず一つが物価高騰対策事業費ですね、これ対象者増で見込んでおります。

あとはアンケートの取り方も工夫をして、できるだけアンケートの回収率を高める形で、より大きい意向というものを確認したいということで、当然対象もアップしながらその予算を計画通りに執行できるように努力をするということになると思います。

それから2点目ですね生産性向上設備投資補助金でありますけれども生産性向上はやはり必要です。当然DXとかGXとありますけれども、デジタルトランスフォーメーションであれば、労働生産性が上がると、労働コスト削減による。それからGXとなれば当然エネルギーが効率化する省電力になる。これも、結果的に生産性が向上する。

生産性が向上する事業の投資を今からやっていかないと、これらの経済には追いついていけないというのがありますので、これを政策的に導入すると、やはり計画も大事ですが、投資が大事だと遠野市は考えております。

○議長（多田勉君） 11番、菊池美也議員。一問一答をお願いします。

○11番（菊池美也君） わかりました。議長に従います。

それでは雇用対策費について確認をします。学生さんに商品を2回お送りして、その対価じゃないですけど、アンケートを取りながら、地元就業に係る部分のニーズを把握していきたいという事業だと思うんですけども昨年度162人に、この事業を活用して商品、生活支援をしたわけですが、この162人から受けたアンケートをどのように活用しているのか。

その、雇用対策という部分で実際どう活用しているのか、今回の補正予算どのように新たに活用していきたいのか伺います。

○議長（多田勉君） 答弁、阿部産業部長。

○産業部長（阿部順郎君） 遠野市で開催するオープンファクトリーという事業がありますけれども、そのご案内は、このアンケートでそういう案内をもらってもいいですよという学生さんにも当然お渡しをしていますが、分析集計をして、どこかに公表しているとかそういうことではなくて、市内の就職活動に結びつけるための一つの、いわゆるウェブ会員ですね、そういったものを募るとというのが我々の目的になります。

当然、令和6年度においても、そのパイが多ければ多いほどいいわけですからそういった形でいろんな方々に情報が発信できるようなツールを作っていくと。もちろん遠野市内の情報もしっかりまとめて、彼らにお届けする必要があるんで、企業側からのアプローチもですね、より明確に分かりやすくしていきたいと、そのように考えております。

○議長（多田勉君） 11番、菊池美也議員。3回目です。

○11番（菊池美也君） 議長、11番。それでは商工振興費の生産性向上設備投資補助金について、改めて最後の質問をさせていただきます。

最終的には投資をしてもらって、新しい設備を設けてもらって、そこで終わりじゃなくて、国の経済対策に倣ってというのであれば、持続的な賃上げに結びつけてもらいたいという希望を持っているんですけども、その辺、産業部としてはどう働きかけていくのか、あくまでも民間の事業所さんの経営でございますから、なかなか口を入れるのは難しいかもしれませんが、補助金を出す上でどのような考えを持って補助金、事業に対して支援していくのか伺います。

○議長（多田勉君） 阿部産業部長。

○産業部長（阿部順郎君） 生産性の向上というのは企業が生み出す付加価値から労働に係るコストを引いた金額ですよ。それが高くなれば

なるほど生産性が上がっていくという表現になるんですが、そういった利益が多くなればなるほど、企業もさらに投資が進みますし、当然賃金にもはね返ってくるだろうと思っています。

基本的には、企業に遠野市が給与をいくら上げてくれというようなことはいたしません、ただ国の方では賃上げをするという優遇税制を検討しているという報道もありましたが、そういった形で国の方で制度的な誘導を図っていきながら、そこに遠野市がどういう支援ができるのかという話になるろうかと思いますが、やはり賃上げは必要だと思います。

○議長（多田勉君） 他に、9番佐々木敦緒議員。

○9番（佐々木敦緒君） 私は6款、畜産業費についてお伺いいたしますが、遠野の農業総生産額の6割を占める畜産、この畜産の衰退あつては、1次産業そのものが危険域に達するという思いを持っています。今まで遠野牛、遠野牛とは言ってるんだけど、どういう方向に進むのかという質問をずいぶん重ねてまいりました。ところが見えなかった。

今回、きちっと遠野の牛、畜産のあり方が示されたと評価をいたします。

そこです、この事業は素晴らしいと思ってるんですが、素晴らしい割には若干遅れたっていう気ありながらも、なんて言うか、周知方法、いくら立派な事業を提案されたとしても、農家がこの事業を理解しないと、いい方向にいかないと思うんですが、その周知方法についてお伺いをします。

○議長（多田勉君） 答弁、阿部産業部長。

○産業部長（阿部順郎君） 周知方法については座談会とか、市のホームページ、広報とおの、遠野テレビなど様々なチャンネルが遠野市にあるわけですから、それを使ってしっかりと対象者に周知をしたいと思っています。

すいません1点だけ配合飼料高騰対策支援事業費の件でありますけれども、これは昨年度説明したんですけども、農家さんの価格高騰に占める農家負担の割合というのが、県が3分の1

補助することによって、大体農家さんの負担割合が1,800円ぐらいだったんです。

それは国が85%の高騰対策支援金を入れているからです。その金額が1t当たり確か16,800円ぐらいだったと思うんですが、今回国がいくら入れているかというのと、5,250円なんですよ。

去年が16,800円ぐらいに対して、国が今回入れている支援金が5,250円。つまり、配合飼料の価格上昇に対して、5,250円ですから農家負担が11,970円ぐらいなんです。

その11,970円、去年は農家が1人当たり1,800円ぐらいだったといった辺りね、これをどう見るかという話なんですよ。

県の方で、2,000円に嵩上げしてきました。遠野市も2,000円でこれに連動する形ですが、それでも農家負担というのは、差し引いて7,000円ぐらい残るわけですよ。だからあの時、これからは単なる給付だけで課題を先送りするんじゃないんだと、抜本的に改革をしなきゃいけないんだということで説明をしてきましたが、国等の動向を見据えた上で判断するという市長が答弁してるはずなんです。

すみません、今回は遅くなったわけじゃなくて、そういう国の動向を見て、市として出来るだけの給付をするという判断になったということになりますし、これも国が5,250円で終わるはず無いんだと私は思うのですが、その辺も国の動向を見て、また議員に、ご説明、ご相談をしたいと、そのように考えております。

○議長（多田勉君） 9番、佐々木敦緒議員。

○9番（佐々木敦緒君） 遅れたっていうのはですね、畜産を廃業する方が出てましたから、遅れてしまうと、どんどん廃業が進んでしまうと。ですから対策を打たなきゃいけないとの考え方です。しかしながら、立派な事業を、こうして展開していこうと予算提案されています。

実は周知方法のことをお話したのは、飼料供給支援事業、これがあつたのにも関わらず、畜産農家が高騰部分の支援するんだという事業を知ってなかったんです。ですから、周知方法に若干問題あるとの思いから質問をしたところ

です。

これ答弁いらないんですが、私達も、この優良牛を鳥取県から導入をして、遠野牛を立派なものにしていくという考え、賛同します。

これで、すごく良い牛、農家も高く売れるんだらうなと思って、実際に鳥取に行ってきました。素晴らしい牛でした。これが導入されてくるんだと思いますから、そのときにおいてですね、今までも遠野では立派な牛がいるんですよ。優良牛があるんです。これ優良牛、優良血統を判定するゲノム調査これについては3分の1補助するようになったんですが、例えば頭数、肉用牛が200頭、乳用牛が100頭という数字の根拠をお伺いします。

○議長（多田勉君） 答弁、阿部産業部長。

○産業部長（阿部順郎君） 数字の根拠は全部調べればいいんですけども、一応生産者の皆様と協議をして、なおかつ、予算の範囲内ということになります。そういう答弁にしかありません予算の範囲内ですと。あと周知方法について答弁いらないとのことですが、乾燥牧草の件、私の方にも入ってまして、生産者の皆さんが知らなかったと。周知不足です。ですからこれもしっかりと、周知して、しっかりと補助出来るようにしたいと思います。素直にありがとうございましたということになります。

○議長（多田勉君） 他に、質疑なしと認めて、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案第85号、令和5年度遠野市一般会計補正予算（第8号）は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会への付託を省略したいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（多田勉君） 御異議なしと認めます。よって議案第85号は、委員会への付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

反対討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（多田勉君） 討論なしと認め、討

論を終結いたします。これより議案第85号令和5年度遠野市一般会計補正予算（第8号）についてを採決いたします。

採決は、表決システムにて行います。

本案は原案の通り決することに賛成の方は1の賛成ボタンを、反対の方は2の反対ボタンを押してください。

〔表決〕

○議長（多田勉君） 以上で、表決を締め切ります。採決を確定いたします。賛成全員であります。

よって本案は原案の通り可決いたしました。

---

## 閉 会

○議長（多田勉君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

これにて本日の会議を閉じ、令和5年12月遠野市議会臨時会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午後3時45分 閉会